



キャンプ利用状況(7月18日現在)



○ 宿泊利用者数 延べ 453 名 *7/17 宿泊分までの累計

- ・ 8 月に入り、かわいキャンブは、協力団体さんや利用ボランティアさん、マスコミさんの情報発信のご協力もあって、利用の予約や問い合わせも増え、その対応でキャンプのスタッフも充実した日々を送っています。
- ・ 8 月 6 日からは、連日、復興支援ボランティアバスの団体さんの利用が予定されております。

■ 宮古市仮設住宅でのサロン活動支援 ■

- 7 月 29 日から、宮古市災害ボランティアセンターの要請で、仮設住宅の集会室で行われるサロン活動の支援のため、かわいキャンブのボランティアさん(略称「かわボラさん」)を派遣しています。
- 今後、仮設住宅に入居されておられる方々に寄り添い、見守りする活動が大切となってきます。キャンプでは、かわボラさんのご協力と、盛岡市社協のサロン専門スタッフとのコラボで、継続して取り組んでいきたいと思っています。

■ オランダ島とのゆかりで ■

- 8 月 1 日から、オランダの方が单身キャンプに滞在し、山田町での瓦礫撤去活動に出かけています。日本のオランダ大使館に勤務していた頃に、山田湾に浮かぶオランダ島(大島)のゆかりがあるとのことでした。
- また、キャンプのオープン当初にオランダ本国から申込みをされた強い思いを寄せています。
- 1643 年(江戸時代)、この島にオランダ船が漂着し、住民が船員を救助したことが島の名前の由来で、2000 年からオランダのザイスト市と姉妹都市としての交流が続いています。



オランダ島(山田湾)